



せいひ会だより

2011年(平成23年)
2月1日発行
<第130号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



せいひ会の初詣

「一年の計は元旦にあり。」

皆さんは新しい年を迎えて、何か計画など立てられましたか？

今年こそは資格を取る・・、今年こそは結婚するぞ！！・？

気持ち新たにいろんなことを思い描いている人も多いかと思います。

そんな思いを神頼みするも良し。毎年恒例の初詣（生長の家総本山）。

暮れからの雪で元日はとても寒い日となりましたが、しっかりとお参りしてきました。

もちろん、甘酒も美味しくいただきましたよ。やっぱりこれが一番！！冷えた体も温まります。

毎年、本当にありがとうございます。

「今年もまた健康で楽しく暮らせますように・・・。」

1月の行事

- 1日 中山神社新年祭(通所・GH)
- 1日～3日 初詣(せいひ会)
- 5日・19日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 8日 誕生会(元亀・通所)
- 21日 寿限無・落成式
- 22日～23日 寿限無・見学会
- 25日 通報訓練(元亀・GH・丘の家)
- 28日 消火訓練(風和の里)



2月の行事予定

- 1日 寿限無オーブン
- 1日 豆まき(元亀の里)
- 2日・16日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 3日 節分の行事(通所・丘の家・GH・風和の里)
- 12日 誕生会(元亀・通所)
- 25日 通報訓練(風和の里)



☆1月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



パーティードーム

今回は元亀の里・辻 サタ様にお話を伺いました。



大正9年、現在の西海町横瀬郷に兄と2人兄弟として生まれる。両親は農業を営んでいたが父は早くに亡くなり、6年生を卒業すると兄と一緒に家業を手伝うことになる。子供の頃は、鬼ごっこや羽根突き・かくれんぼ等をして遊んでいたが「手伝いせんで遊んでばっかいおったら怒られよった」そうだ。手伝いで一番きつかったことは井戸の水運びだったそうで、「早う終わらせようって思うて水ばいいっぱい入れて運びよったら、チャポンチャポンこぼれて家に着いたらだいぶ減った」とのこと。干ばつ時には遠くまで水汲みに行っていたようで大変だったそうだ。また、田んぼ仕事も大変だったそうで、「田は膝まではまり込むし、刈った稻は束ねて担いで上げんばやったし、体も小さかったけんきつかったよ」と当時の苦労を思い出していた。

20歳代半ば、近くで船大工をしていた男性と結婚し4人の子供に恵まれた。結婚後も実家や隣の家の農業を手伝った。「小さか頃から力仕事ばっかいしょったけん、膝っちゃどこっちゃ悪うなってしもうた」と、今も手足の痛みが続いているようだ。

「今の世の中は贅沢っか」と話される。「昔はお金はあっても買うものは無かった」「ご馳走は盆と正月しか食べられんやったばってん、今は毎日がご馳走のごたる」とのこと。

最後に、「今の若っか人達は物のありがたさの分からんごたる」「何でもボイボイ簡単に捨ててゴミばっかいになってしまいよる」と、今後の世の中の行く末を心配されていた。

体調に注意しながらハビリを続けてください。誕生日おめでとうございます。

寿限無 2月1日オープン！！



新年を迎え、1月21日（金）特別養護老人ホーム「寿限無」の竣工・落成祝賀会が、多数の関係の皆様に出席を賜り開催されました。当日は浅間神社の宮司様による神事の後、祝賀会ではお祝いの挨拶を頂戴し励ましの言葉をいただきました。これまでお世話になりました皆様方に対し、あらためて心から厚くお礼申し上げます。

また、1月22日（土）・23日（日）の2日間は「施設見学会」を行いました。予想以上の多くの皆様にご来苑いただきかさねて感謝しております。

そして、2月1日（火）「寿限無」はスタートしました。

今後は地域の皆様の様々な福祉ニーズに応えられる施設として、皆様のご期待に添うべく職員一同、なお一層努力してまいる決意です。

これからも何卒宜しくお願ひ申し上げます。

特別養護老人ホーム寿限無 〒851-3102 長崎市琴海村松町704番地3
電話 095-884-0080

風和の里

風和の里の元日



大迫力の獅子舞！！今流行りの3Dで皆さんにお見せしたいくらいの迫力です。もちろん手作りですよ。職員4人がかりで舞いました。利用者の皆さんもおつかなびっくりながらも、拍手で迎えてくれました。無病息災を祈念して頭から「ガブリ！！」その様子に大きな笑い声が響きわたりました。今年も元気に過ごせますように・・・。

Vitality Space

バイタリティースペース



お正月にちなんだ「通所」ご利用の皆さんの共同作品を集めてみました。

綿やフェルトなどを使って、立体的に仕上げました。卯年の今年、跳んだり、跳ねたり、飛躍の年となりますように・・・。



グループホーム



GHの元日



元日は皆さんどのように過ごされましたか？
紅白歌合戦や深夜遅くまでテレビにくぎ付けでしたか？
それとも早起きして初日の出を見に出かけましたか？
グループホームでは、「おとそ」をいたいた後、みんなで手形をとりました。
毎年恒例となりましたが、新年の抱負を手形に添えて一年の健康を願いました。

風和の里

鬼火だき



早朝から「パン、パン」という音で目が覚めたこの日。地域のあちらこちらで「鬼火焚き」が行われました。ご覧のように寒空のもと利用者の皆さんも鬼火だきの火をじっと見つめていました。

グループホーム

鏡開き



正月に飾られた鏡餅を使って「ぜんざい」を作りました。どうですか、美味しいでしょう！？「ぜんざい」も家庭によって味付けも違っていますが、昔ながらの素朴な味に皆さんご満悦な様子でした。

元亀の里・GH・丘の家

通報訓練



1月25日（火）通報訓練を行いました。非常通報装置の使用方法やその他の設備について説明を受けたあと、実際に「119」番通報を行いました。

風和の里

消火訓練



1月28日（金）消火訓練を行いました。実際の火に対しての消火作業や屋内消火栓を使っての放水などを体験し、いざという時に備えています。寒い日が続きますので、皆さんも火の元には十分注意をして下さい。

ケアマネ 敏美 の独り言

<敗者復活の倫理>

自分の『生きるバイブル』の1つに「敗者復活の倫理」という本がある。もう30年ほど前の本ではあるが、この本と出会ったお陰で人生が大きく変わった。その中にこういう言葉がある。「例え銃弾が自分の胸を貫いて命を奪われたとしても、自分が負けたと思わない限り負けてはいない」某国の大統領の言葉である。この文章を初めて見たときはあまり衝撃的ではなかったが「この大統領は実際に凶弾に倒れた」と知ったとき、戦慄が走った。自身の信念を貫き通した男の言葉の重みたるや。。。熱いものがこみ上げてくる。「後生大事に2位を狙いにいけば、賞金は稼げる。でも1番をとりにいきたい」複数のプロの勝負師たちが残している言葉。「お金ではない」と言っているのである。はたまた、ハッとしたさせられた!!物質面で豊かになった日本において今を生きる我々に何が足りないかを語っているようで、定期的に読み返している。人生、勝者・敗者で分けられるものではないが、自分がこの世を去るときに自身に問いかけて、勝ったといえる人生を送りたいと思う。読んでくださっている皆さん「3流は1流になれるが、2流は1流にはなれませんよ～」って言いながら自分に言い聞かせている今月でした。